



# 学校だより 2月

令和2年 1月 31日 横浜市立芹が谷南小学校

## 手から手へ あたたかさが伝わる

学校長 高木 篤子



子どもの頃、どんな遊びが好きでしたか。夢中になって遊んだ思い出はありますか。

自分自身を振り返ると、公園で缶蹴り、校庭で鉄棒や雲梯、友達の家でボードゲームやトランプ、家で着せ替え人形やプラモデル作り。その時々、成長や環境や仲間によって遊びは変わっていきますね。

図書室にある『遊びとくらし、昔と今』という本を開いてみました。「わたしが子どものころは、お母さんにお手玉をつくってもらったり、毛糸をもらってあやとりをしたり…。店でおもちゃを買うことなんて、めったになかったねえ。だから、おもちゃをととてもたいせつにしたわ。」というおばあさんの話が書かれていました。買ったおもちゃではなく、剣や竹馬など自分で工夫して作った物で遊んだことのほうが多かった時代のことです。

昔遊びというと、数少ない経験の中から、祖母が着物の端切れにあずきを入れて縫ってくれたお手玉が思い浮かびます。手の中からシャリシャリというお手玉の音がして、高く上げるとポタッと落ちて。うまくできなかつたけれど、ほんのりと祖母の手のあたたかさをお手玉から感じたような気がしました。

本校では、1月22日に1年生が「昔遊びの会」を行いました。27名の地域の方々から、お手玉・けん玉・こま回し・だるま落とし・めんこ・あやとりを教えていただきました。手作りの紙鉄砲や紙飛行機もご持参いただき、遊びを広げることもできました。

「教えてもらって、こまの紐の巻き方が分かったよ。回るといいな。」

「初めてけん玉ができたよ。2回も玉を乗せたんだ。」

「ねえ、見て見て。ぼくも自分であやとりできるんだ。」



子どもたちに寄り添って昔遊びをご一緒していただき、心あたたまる時間を過ごすことができました。言葉に加え、手から手へ昔遊びを伝えていただいたことで、人の優しさが手から子どもたちの心へ伝わったことでしょう。昔遊びを伝承することで、そのぬくもりも伝えることができれば、とてもすてきなことです。

これからも、子どもたちの心を豊かに育むように人とふれあう教育活動を大切にしていきたいと思います。登下校中も含めた様々な学校生活の場面で、体験活動や見学等の校外学習・行事等を含めた学習活動において、多くの皆様から本校の子どもたちへ、あたたかさをありがとうございます。